

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	19150
課題名	表皮角化細胞におけるスフィンゴシン-1-リン酸受容体(S1PR)1-5 の機能解析
研究期間	西暦 2019 年 11 月 29 日 ～ 2024 年 10 月 1 日
研究の対象	2002 年から 2019 年 10 月までに炎症性皮膚疾患で皮膚生検及び良性皮膚腫瘍切除の手術を受けられた方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢、性別、皮膚採取部位、診断名） <input checked="" type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：皮膚） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
外部への試料・情報提供	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先： ）（提供方法： ） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ）
研究組織	旭川医科大学皮膚科学講座 井川 哲子 岸部 麻里 山本 明美 共同研究機関：カリフォルニア大学サンディエゴ 皮膚科 教授 Anna Di Nardo
研究の意義、目的	現在、皮膚の病気の中にはまだ有効な治療法がないものや、治療による副作用が問題となるものが残念ながら存在しています。一方で、ヒトの表皮にはまだ、機能のよくわかっていない構造が存在しています。今回機能を解析しようとしているスフィンゴシン-1-リン酸受容体(S1PR)1-5 も、表皮を構成する角化細胞に存在していることはわかっているものの、まだその機能がよくわかっていない構造の一つです。これまで、S1PR のいくつかの種類が、表皮の炎症や分化に関与していることはわかってきていますが、アトピー性皮膚炎、乾癬、表皮感染症といった皮膚の病気と S1PR との関連はまだ十分にわかっていません、 今回、患者さんから過去の皮膚生検や手術で得られた皮膚検体を用いて S1PR1-5 の発現を調べることで、皮膚の病気とそれぞれの S1PR の関連を明らかにして、治療法の向上に役立てることを目的としています。
研究の方法	患者さんの病気の診断や治療のために皮膚を切除する際に得られた組織のうち、診断後に不要となった部分を使わせていただいて、免疫染色による検査をします。また、得られた染色結果を写真に撮り、デジタルデータとして共同研究機関であるカリフォルニア大学サンディエゴに提供して、その結果の意義について検討を行います。 具体的には、切除した皮膚を患者さんの氏名やカルテ番号がわからないように匿名化した後、薬品により固定し、パラフィンに包埋し、そこから薄い切片を切り出します。この切片を S1PR1-5 に対する抗体を用いて免疫染色し、得られた結果を学会や論文で発表します。
その他	

お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>旭川医科大学病院皮膚科</p> <p>住 所：旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号</p> <p>電 話：0166-68-2523</p> <p>研究責任者：旭川医科大学 皮膚科学講座 助教 井川哲子</p> <p>研究代表者：旭川医科大学 皮膚科学講座 助教 井川哲子</p>
---------	---